



暮らし地域のために  
役立つこと



身近な自然のこと、  
環境のことが気になる



足元のこと、  
もっと知りたい！伝えたい！



集い。語り。笑い。

今もまだ  
やりたかった  
ことがある。  
た事が

当日プログラム(予定)

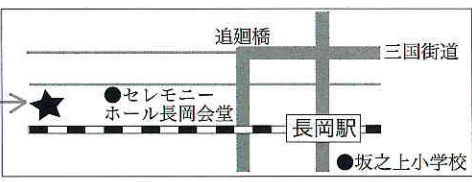
- 12:30 受付
- 13:00 開会
- 13:15 映画『降りてゆく生き方』ダイジェスト版上映
- 13:30 基調講演  
長岡：河田圭子氏「ここで生きがいを持って暮らしたい」  
新潟：清水義晴氏「これからの時代、私達の生き方」
- 14:30 わくわく生活見本市  
—出展者プレゼンテーションタイム—  
—自由に交流タイム—
- 16:30 閉会

# わくわく生活 見本市

入場無料

これからの人生、新潟でわくわくを感じて暮らしたい！  
あなたにとっての第2、第3の人生のカギを見つけてみませんか。

 いきいき県民カレッジ登録講座



in 長岡

**2009.2.28** 13:00~16:30 (土)

メディアぷらっと(長岡市千歳 1-3-43 操車場跡地)  
□長岡駅大手口から徒歩 20分  
□バス法務局前線 法務局下車徒歩 1分



ふるさと新潟の魅力  
郷土料理、農耕文化、手仕事

うちの実家代表  
**河田圭子氏**

基調講演

参加申込〆切  
2009.2.20

H19年地域づくり総務大臣表彰を受賞

— 今はみんなのしあわせについて考えるチャンス —

in 新潟

**2009.3.8** 13:00~16:30 (日)

新潟県民会館ギャラリー  
(新潟市中央区一番堀通町 3-13)

地域づくりプロデューサー  
**清水義晴氏**

基調講演

参加申込〆切  
2009.2.27

武田鉄矢主演、映画「降りてゆく生き方」のもとになった人

— 変革は弱いところ、  
小さいところ、遠いところから —



子ども達たちのために

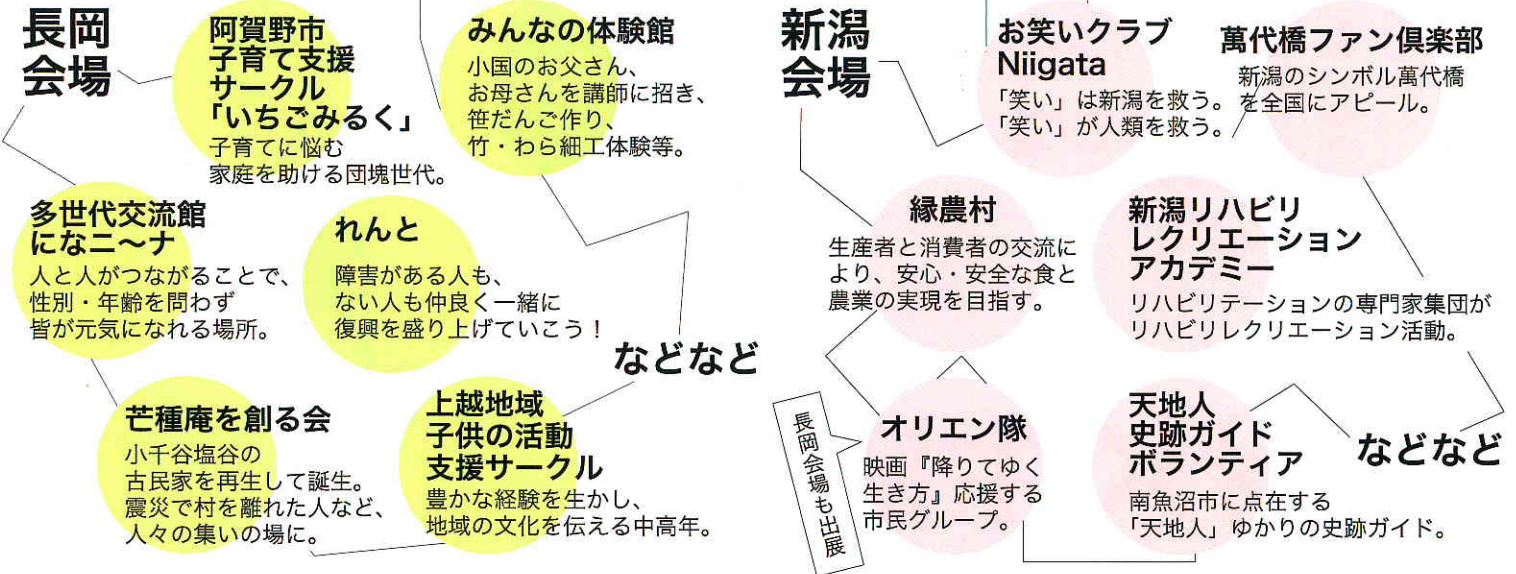
申し込み先：新潟県高齢福祉保健課 TEL /025-280-5190 (8:30~17:30) FAX/025-280-5229

基調講演は、お座り頂ける席数(各会場先着 100名)に限りがございます。ゆっくりとお聴き頂くためにも事前のお申し込みをお願い致します。  
わくわく生活見本市の時間帯は出入り自由となっております。お問い合わせの上、この時間からでもどうぞお気軽にお越し下さい。



## 各会場、20 団体が活動紹介ブースを出展予定！

その他、新潟県内の市民活動を幅広くご紹介する情報コーナー、あなたにピッタリの活動をコーディネートする出会いサポーターなども！



### 基調講演講師紹介

しみず よしはる  
**清水義晴氏**  
1949年、新潟市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、家業の印刷会社に務める。26歳のとき、父親（社長）の突然の死によって経営を引き継いだ。38歳で経営をバトンタッチして相談役となる。2年間、現代美術館の運営などにたずさわったのちフリーランスに。そのころからまちづくりに関わるようになり、「えにし屋」という屋号で全国のまちづくりやコミュニティビジネス、人材育成などの仕事を手がけている。長らく新潟県の地域づくり・まちづくりを支えてきた方でもある。映画『降りてゆく生き方』の物語のもとになった本『変革は弱いところ、小さいところ、遠いところから』（太郎次郎社2003年）の著者であり、この映画のエグゼクティブプロデューサーでもある。

かわだ けいこ  
**河田珪子氏**  
1944年、新潟発田市生まれ。うちの実家代表。平成元年、勤めていた大阪府立特別養護老人ホームを退職し、夫の2人の親達の介護に当たる為、家族と離れ単身で新潟に戻る。その苦しみは、自分の家族だけではないはずとの思いから「介護しつつ自分の人生を大切にしたい、介護される側の人生も大切にしたい。そんなシステムを創りたい」と呼びかけ、多くの賛同者と共に、困った時に本当に助け合える、支えあいの仕組みを創り続ける。2008年8月、空き家を生かした生涯現役の場づくりで地域づくり総務大臣表彰を受ける。また、多くの福祉、市民グループが集まり、情報交換する「ごちゃまぜネット」を創設。映画『降りてゆく生き方』の脚本づくりのためのシナリオインタビューを受けられた方でもある。

### 映画「降りてゆく生き方」とは

現代の日本が抱える多くの社会問題と真っ正面から向き合うために、製作陣は膨大な資料と全国の様々な団体を取材し約3年間の歳月を費やしました。その中で、ありのままの自分の命を向き合う「引き算発想」としての『降りてゆく生き方』を具現化している「新潟」と出会いました。想像をこえる地域力、ひとのつながり、冷たい経済から暖かい経済を実践する柔軟性と将来性。それは、マネーゲームに翻弄された日本の、いや世界の格差社会にとって、希望の灯だと確信しました。その驚くべき新潟力は本作の準備、制作過程をきっかけに爆発し、新潟人でさえ思いもよらなかった溢れるほどの情熱と団結力が、世代や性別や団体をこえて本作へ集結しました。希望がギッシリ詰まった本作を全国へ広げることで日本の将来が明るくなると私たちは信じています。（につぼんプロデュース HP より）

物語は、団塊世代のエリート官僚・川本五十六（武田鉄矢）が、地方都市再生に取組む人々との出会いを通して、自らの生き方と日本が抱える問題に正面から向き合い、現代の日本人が忘れかけている「降りてゆく生き方」に出会う完全オリジナル作品。シナリオ制作には、全国各地の事例を取材したが、中でも特に「新潟」は、この映画に多くの影響を与えているという。県内7カ所で開催のエキストラオーディションには約1,700名が参加。本編には新潟県民をはじめ、2,000名以上の一般参加者も出演している。見所は満載。

監督：倉貫健二郎  
出演：武田鉄矢、渡辺裕之、沢田雅美、苅谷俊介、大谷允保、石田えり、森太熊、権藤栄作、ほか。  
公開：2009年3月新潟先行上映（7月より順次全国上映）  
公式ブログ：<http://www.nippon-p.org/blog/>

FAX 申し込み用フォーム 025-280-5229（切り取らず、このまま御送信下さい）

お名前	お住まいの市町村
電話番号	※複数でこられる方は人数をご記入下さい 人

※お送りいただいた個人情報、本件に関する連絡のみに使用いたします。